

30年度 7月 園だより

- <教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

H30. 6. 29 文京区立本駒込幼稚園



体力向上のためのさんま



園長 原田幸子

幼稚園ではプールが始まり、いよいよ夏本番です。先日のプール開きでは、すみれ組の代表者がプールの手すりに結んだリボンのテープカットをしたり、各クラスごとにプールに入り、動物の変身ごっこや宝探しなどをしたりして楽しみ、これからのプール遊びへの期待を膨らませました。ちゅうりっぷ組の子どもたちも園庭でのミニプールの中で、思い思いの動きをして、初日の水遊びを楽しんでいました。職員間で連携し、安全管理に十分気を付け、夏ならではの楽しい経験ができるようにしたいと思います。

先日は、文京区教育委員会の体力向上推進事業の一つである「保護者向け体力向上講座」にお茶の水女子大学の水村真由美先生においでいただき、貴重なお話を伺うことができました。その中で「体力向上にはさんま（三間：空間・時間・仲間）が必要です。体を動かす様々な経験を積み重ねる中で、運動能力も発達します。」というお話がありました。また、「カリキュラムとして体操の時間を設けている幼稚園よりも、遊びの時間を大切にしている幼稚園の方が、園児の運動能力が高いという研究結果があります。体操教室のような運動方法の場合は、待ち時間が長くなってしまいがちで、集団で友達と遊ぶ方が運動量は多いです。そして、体を動かすことが楽しいと感じられるようにすることが最も大切です。」とのことでした。

本園の子どもたちは、体を動かすことが大好きです。園庭に出ると「ぼく、走るのが早いよ」「しっぽとりしよう」などと、友達や先生を誘って、元気に遊んでいます。すみれ組ではドッジボールが盛んで、物を操作する運動遊びを楽しめるのは年長組ならではの姿です。そして、園生活の中でも、バランスをとりながらお茶の入ったやかんを運ぶ動作、片付け時のしゃがんで物を持ち上げる動作、椅子に座って姿勢を保つこと など…。数えきれないほどの、多様な動きを経験しています。

その他にも、水村先生は「幼児の平均歩数は、平日は13000歩程度、休日が9800歩程度です。休日に運動量が減る傾向があるので、積極的に親子で戸外に出ることも大切です。」とおっしゃっていました。

体力向上・維持には、10円玉貯金のようにコツコツと運動を積み重ねる必要があるとのことです。本園では、水村先生のお話の中にあっただ「三間」と「体を動かすことを楽しむ経験」をこれからも大切にしていきます。ご家庭でも、親子で体を動かす工夫ができるとういですね。

ちゅうりっぷ組



さくら組



すみれ組



プール開き
前日の掃除